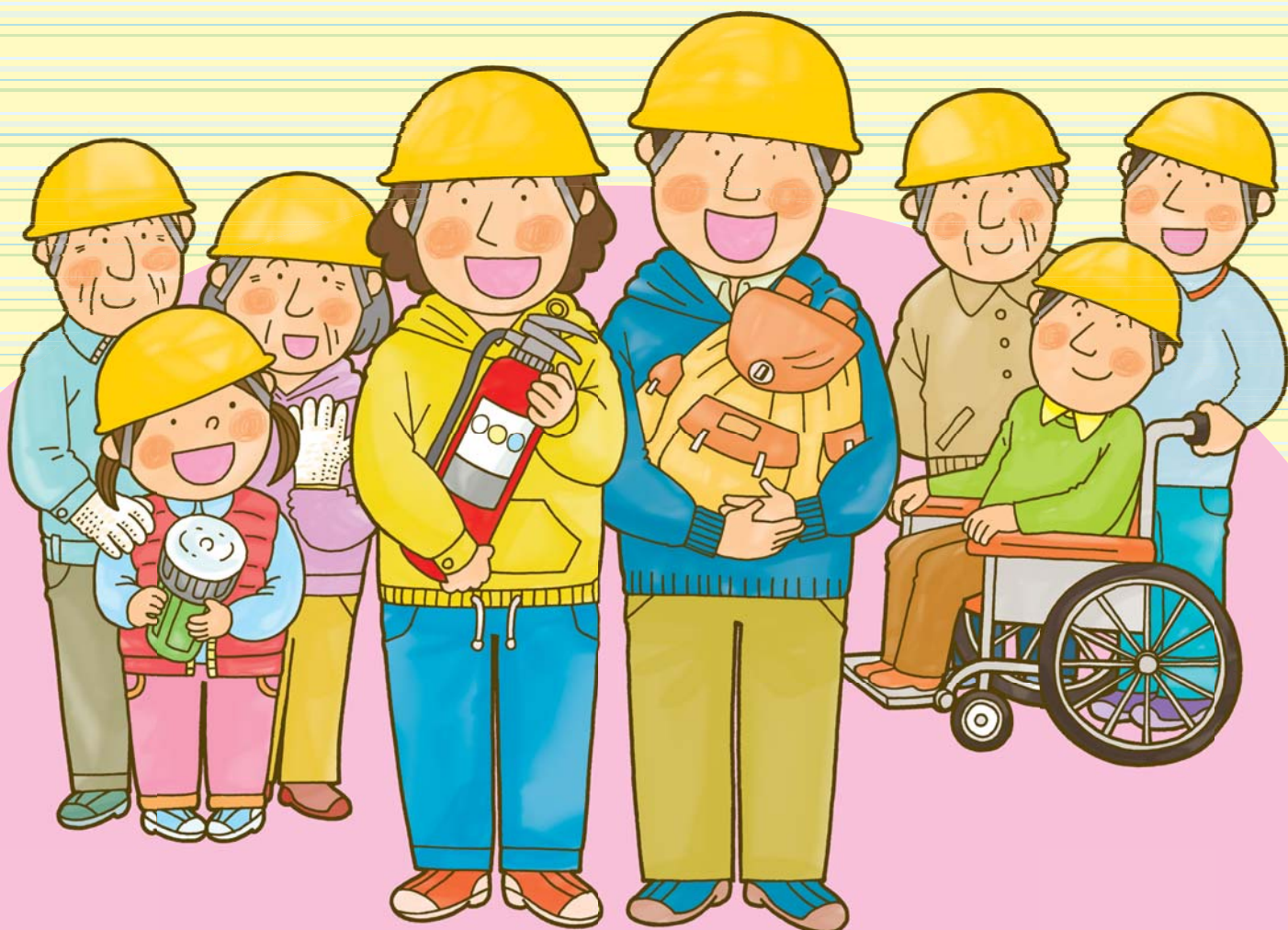


岩国市

防災ガイドブック



もくじ

- 防災・減災の要となる「自助」「共助」…………… P 2
- 避難に役立つ情報について…………… P 3
- 洪水や土砂災害への対応…………… P 5
- 地震が発生したら！…………… P 6
- 地域での協力・支援体制を…………… P 7
- マイ・タイムラインをつくろう…………… P 8
- 非常持出品と非常備蓄品…………… P 9
- 女性や育児に必要な非常備蓄品…………… P10
- 災害から避難するタイミング…………… P11
- 防災情報伝達手段等…………… P12
- ハザードマップ…………… P15
- マイ・タイムライン作成シート…………… 裏表紙

防災・減災の要となる「自助」「共助」

災害が起きたときに必要な助けや支援には「自助」「共助」「公助」の三つがあります。そのなかでも、自分自身の身の安全を守る「自助」、住民が協力して助け合う「共助」が防災・減災の要といえます。災害時、一刻を争う状況では、自分たちで自らの身の安全を守り、隣近所の人たちと協力して被害にあった人たちを救助・救援することが必要となります。

自助とは、「自らの身は自分で守る」ということです。普段から災害に関する知識を身につけ、災害を正しく理解し、何を備えておけばよいかを考え、災害に対する準備をしておきましょう。



自助

共助とは、「地域の住民で助け合う」ということです。災害時に頼りになるのは、まずは隣近所の人たちです。日頃から交流を深めておくことで、災害時に円滑に助け合うことができます。

地域が昔はどんな場所だったのか、どんな災害が起きていたのかなど、地域の特性は昔からその地域に住んでいる人がよく知っています。自主防災組織を中心として、地域の特性を把握した上で、災害に備えましょう。



共助

公助とは、公的機関（市、消防、警察など）、消防団、自衛隊などの活動のことです。



公助

自主防災組織とは

自主防災組織とは、地域の住民が防災活動を行う組織のことをいいます。

自主防災組織の主な役割は、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行うことです。

災害の規模が広範囲にわたる場合や市、警察、消防などが避難支援に向かう時間がない場合には、地域住民が協力しあって身の安全を確保することが必要となります。自主防災組織は地域住民が逃げ遅れることがないように避難誘導するなど、重要な役割を担います。

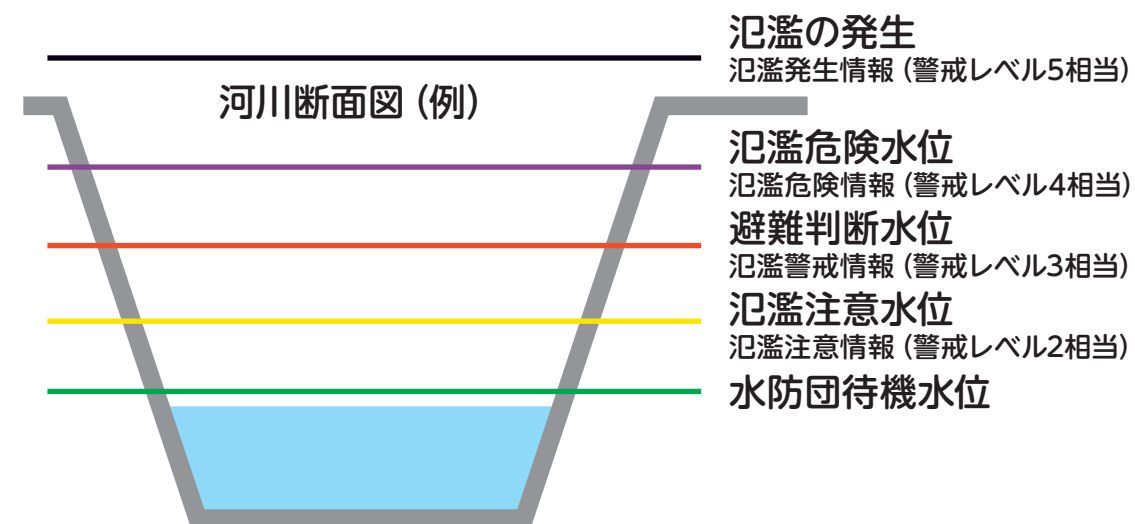
避難に役立つ情報について

命を守るために避難に役立つ情報を集めて、早めの行動につなげましょう。

1 河川氾濫について

岩国市には、河川の水位を測る19か所の水位局が設置されています。

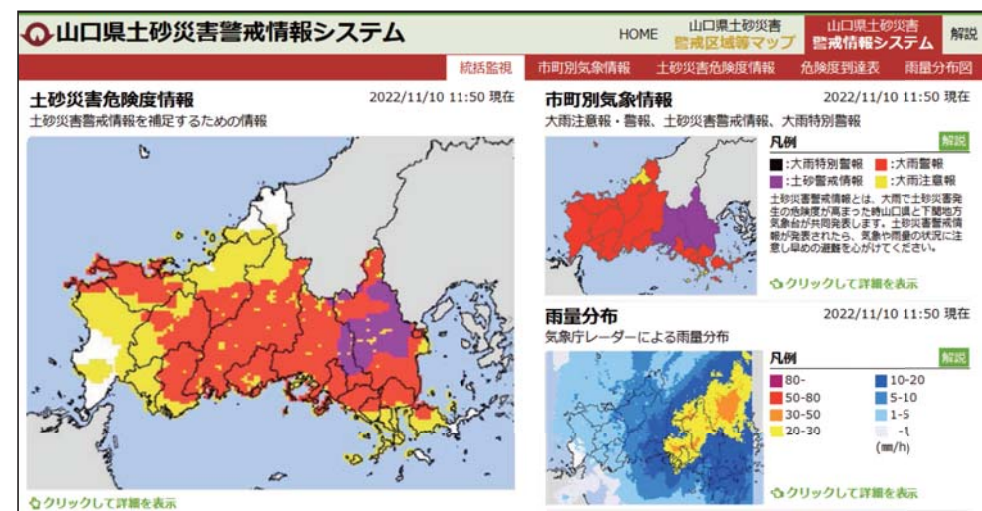
下の図は、河川断面図の参考例です。各水位情報は、各河川の堤防の高さや堤防の外側の土地の高さなどによって決められており、「山口県土木防災情報システム」から入手することができます。



※詳しくは岩国市のホームページを参考にしてください、お問い合わせください。

2 土砂災害について

土砂災害危険度情報は、「山口県土砂災害警戒情報システム」から入手することができます。下の図のように1km四方のメッシュで区分し、そのメッシュ内の危険度を4段階で色分けすることによって、地域ごとに分かるようになっています。



※詳しくは岩国市のホームページを参考にしてください、お問い合わせください。



土砂災害危険度情報の凡例

災害切迫 (警戒レベル5相当)

危険 (警戒レベル4相当)

警戒 (警戒レベル3相当)

注意 (警戒レベル2相当)

3 高潮について

気象庁が発表する高潮注意報、高潮警報、高潮特別警報、暴風警報、暴風特別警報や、都道府県が発表する高潮氾濫発生情報などがあります。



4 津波について

気象庁が発表する津波注意報、津波警報、大津波警報があります。



5 暴風について

気象庁が発表する暴風警報、暴風特別警報、台風情報などがあります。



●避難情報発令時等の
防災行政無線屋外スピーカーのサイレンパターン

情 報	発令時	解除時
「緊急安全確保」、「避難指示」、 「高齢者等避難」など、行動を伴う情報	(5秒サイレン+放送)×3回	通常放送
注意情報、警戒情報	—	—

※放送文(例)…「土砂災害発生の危険が高まっているため、〇〇地区に避難指示(警戒レベル4)を発令します。危険な場所から、ただちに避難を開始してください。」

※放送内容が聞き取れなかった場合は、電話応答機能を利用してください。

電話応答機能 電話29-1111(放送内容は24時間保存されます。)

- ・岩国地域 「1」 ・由宇地域 「2」 ・玖珂地域 「3」 ・本郷地域 「4」
・周東地域 「5」 ・錦地域 「6」 ・美川地域 「7」 ・美和地域 「8」



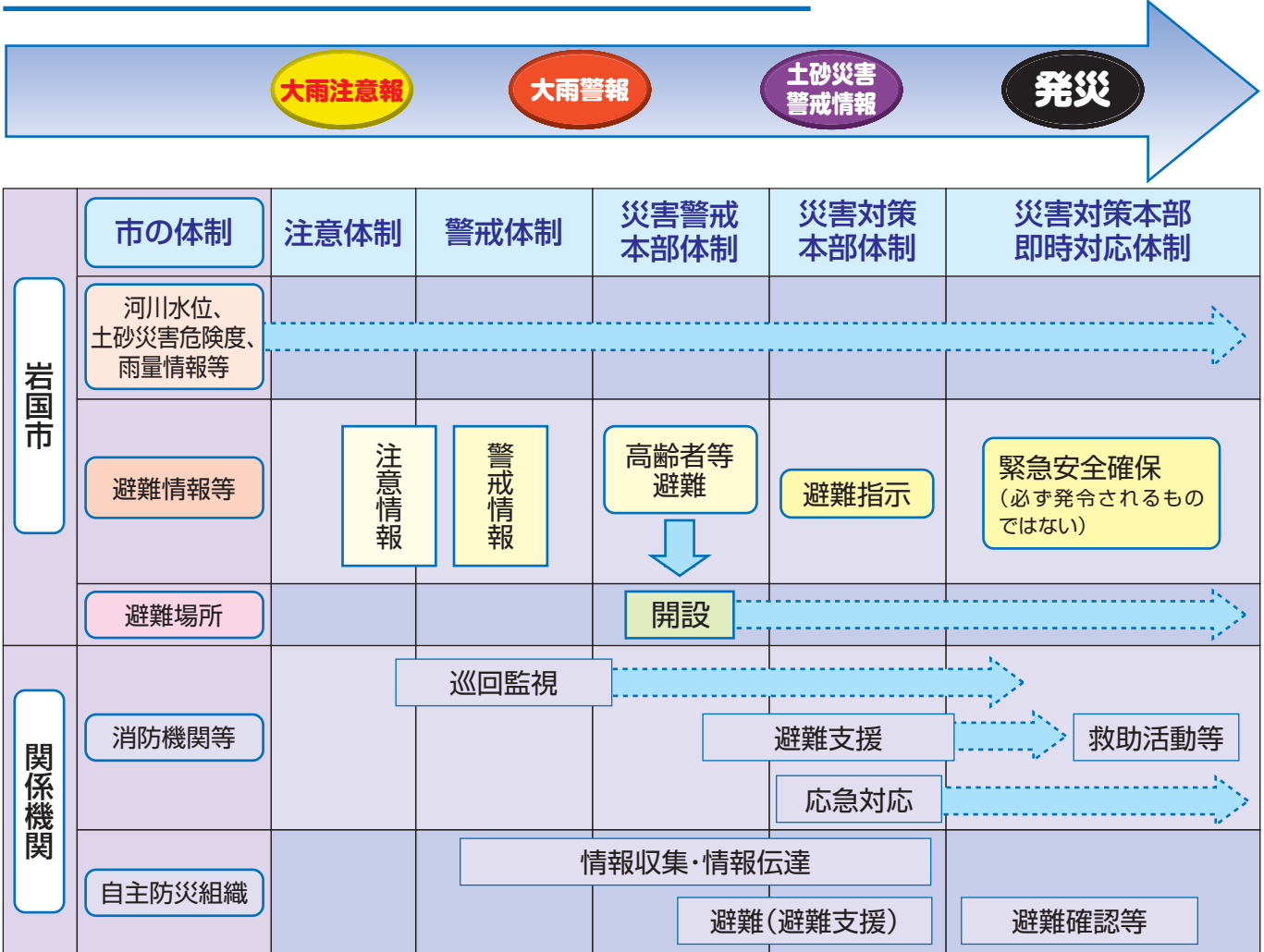
洪水や土砂災害への対応

洪水や土砂災害などが発生してからの避難は、非常に危険です。台風の接近や大雨が予想される場合は、最新の気象情報などに注意して少しでも危険を感じたらすぐに避難してください。自主防災組織を中心として地域で協力し、早めに避難するよう心がけましょう。

洪水や土砂災害の主な対応の流れ

岩国市	①河川の水位、土砂災害危険度、雨量情報などを監視 ②状況に応じて「注意情報」や「警戒情報」を発表 ③災害の危険が高まった場合、「避難指示」などの避難情報を発令
自主防災組織	④避難情報の発令等を受け連絡網等を活用して情報伝達 ⑤避難開始(要支援者避難支援) ⑥名簿等により避難の確認

洪水や土砂災害に対する時間的経過で見る行動例



地震が発生したら！

緊急地震速報や大きな揺れがあったときは、まずはあわてずに身の安全を最優先に行動しましょう。

地震発生時の避難行動例

下の表は、地震が発生した場合における避難行動の一例です。状況をよく確認し、自分自身の安全を確保することを心がけてください。



状 況 等	行 動
地震発生	●自分や家族の身の安全を確保する
揺れがおさまる	●揺れがおさまってからガスコンロなどの火を消すなど
	●余震に備えて、倒壊物がないかなど、安全を確保する

地震の心得10か条

1 グラツきたら火の始末

地震を感じたら火を消す。もし消せない場合は、揺れがおさまったらすぐに落ちついて、ガスコンロやストーブなどの火を消す。

2 わが身の安全を図る

倒れやすい戸棚や本棚からすぐ離れる。丈夫なテーブルや机の下などに隠れ、身の安全を守る。隠れる余裕がなければ、座布団などで頭を保護する。

3 出口を確保する

建物がゆがみ、ドアが開かなくなることがある。玄関などのドアや窓を開け、逃げ道を確保する。

4 火が出たらまず消火する

「火事だ!」と大声で叫び、隣近所にも知らせる。消火器等で消火する。

5 屋外に逃げるときはあわてない

屋外に逃げるときは、瓦やガラスなどの落下物に注意し、落ち着いた行動をとる。

6 狭い路地、塀ぎわ、がけや川べりに近寄らない

ブロック塀や門柱、自動販売機などからできるだけ離れる。

7 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意する

早め早めに安全な場所に避難する。津波が発生する危険がある地域で、高台に逃げる時間がない場合には、緊急避難できる「高い建物など」へ避難する。

8 避難は徒歩で、持ち物は最小限にする

荷物を欲張りすぎると避難行動に支障が出る。車やオートバイは使わず、徒歩で避難する。

9 正しい情報をつかみ、むやみに恐れない

デマやうわさに惑わされず、市や警察・消防、テレビ・ラジオのニュースなどから正しい情報を集める。

10 避難の前に安全確認(電気、ガス)

避難が必要なときには、復電時の電気機器のショートなどの通電火災やガス漏れの発生を防ぐため、ブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めてから避難する。

危険箇所を確認しておこう

日頃から地域の危険箇所や避難経路をチェックしておきましょう。避難経路は車いすも通れる道なのかなど、要支援者の視点でも確認しましょう。できれば、地図の上書き込んで災害時に役立てるよう工夫をしましょう。

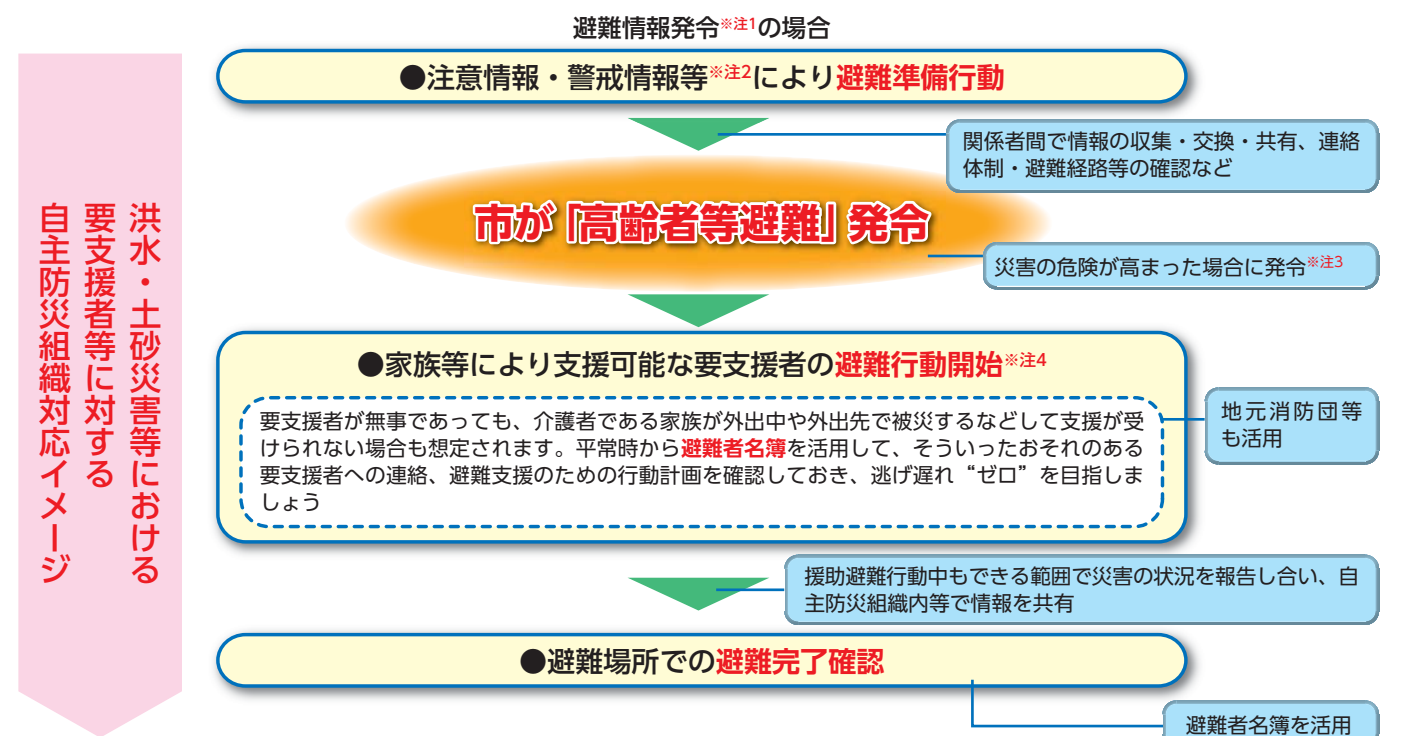


地域での協力・支援体制を

災害時に逃げ遅れることがないように、特に避難に支援が必要な要支援者の避難行動を地域で協力できるよう準備をしておきましょう。自主防災組織としては日頃から要支援者と交流を持ち、必要な支援体制を確立することが重要となります。

組織の対応や支援体制を具体的に決めておこう

自主防災組織が中心となって、地域内の要支援者等に対する組織対応イメージや災害時の支援体制を具体的に決めておきましょう。



※注1：避難情報：「高齢者等避難」→「避難指示」→「緊急安全確保」

※注2：発表等のタイミングについては、地域・事象によって異なります。

※注3：「高齢者等避難」は、発令されない可能性があります。

※注4：屋外が危険な状態の場合は、屋内の、山や斜面から離れたより高い階へ避難しましょう。

避難者名簿を整備しよう

自主防災組織で避難者名簿を作成しましょう。特に災害時に自ら避難することが困難な人や、円滑・迅速に避難するために支援を要する人が把握できるよう名簿を作成し避難支援や避難完了の確認・報告などに役立てます。

把握しておくこと

避難者名簿登載者の

- 住所 ●電話番号 ●同居人数 ●特記事項
- 緊急時連絡先 ●近隣支援者など



ここに注意!

避難者名簿を作成する際には本人や家族のプライバシーへの十分な配慮が必要です。地域住民に納得のいく説明をして了解の得られた人のみを記載するなど、慎重に名簿づくりを進めましょう。また、集めた情報は大切な個人情報となります。適切に管理し、流出することのないよう厳重な注意が必要です。

マイ・タイムラインをつくろう

マイ・タイムラインとは、一人一人のタイムライン(防災行動計画)のことです。避難に備えた行動をあらかじめ決めておくことで、災害時にあわてずに避難できます。このガイドブックの巻末に作成シートを掲載していますので、我が家のタイムラインを作成しておきましょう。

目安		気象情報等		市の情報		私と家族の行動（誰が〇〇をする）	
3日前		〇台風進路情報 〇早期注意情報 〇台風に関する山口県気象情報（随時）		市が発令する避難情報	警戒レベル1	●災害への心構えを高める ●準備を始める ・テレビなどの天気予報に注意する ・家の周りで風で飛ばされるようなものがないか確認する ・防災グッズ等を確認する ・家族の今後の予定を確認する	
2日前						・テレビやインターネットなどで雨や川の様子に注意する ・車にガソリンを給油する ・家族の健康状態を確認する	
1日前		〇洪水注意報 〇大雨注意報 〇氾濫注意情報 〇高潮注意報				避難行動をハザードマップで確認する ・スマートフォン等を充電（モバイルバッテリー等の確認） ・ハザードマップで避難場所、避難手段を再確認する ・普段から飲んでいいる薬などを事前に準備しておく	
圏台内風							
半日前		〇洪水警報 〇大雨警報（土砂災害） 〇氾濫警戒情報 〇高潮警報に切り替える可能性が高い注意報		高齢者等避難	警戒レベル3	危険な場所から高齢者等は避難する ・川の水位や道路の通行止め情報をインターネット等で確認する ・開設されている避難場所等を確認する ・避難しやすい服装に着替える ・車を高台に移動させる	
発生影響						・近隣の要配慮者へ声をかけて避難する ・自発的に親戚や知人宅、避難場所等への避難を始める ・浸水や土砂災害のおそれがある場合は、避難を始める	
5時間前							
3時間前		〇土砂災害警戒情報 〇氾濫危険情報 〇高潮（特別）警報		避難指示	警戒レベル4	●危険な場所から全員避難する ●避難を完了する ・近隣の要配慮者へ声をかけて避難する ・安全なところへ速やかに避難する ・避難場所への移動が難しい場合には自宅や近隣の丈夫な建物の上階などで安全を確保する	
最接近台風							
~~~~＜警戒レベル4までに必ず避難！＞~~~~							
0時間		〇大雨特別警報 〇氾濫発生情報		緊急安全確保	警戒レベル5	直ちに安全を確保する  ・命を守るための最善の行動をとる ・自宅や近隣の少しでも安全な場所に移動する	
発生災害							



# 非常持出品と非常備蓄品

非常持出品は、災害から避難するとき最初に持ち出すものです。非常備蓄品は、復旧するまでの数日間を支えるものです。用途に合わせて事前に用意しておきましょう。

非常持出品の例		非常備蓄品の例	
懐中電灯	できれば一人に一つずつ用意。予備の電池も忘れずに(発電式のものもある)	食料品	缶詰やレトルト食品など非常食3日分、できれば7日以上を備蓄。高齢者や子ども、アレルギー体質者など配給される食事をとるのが難しい家族がいる場合には、その事情に合った食料を多めに準備
携帯ラジオ	小型で軽く、AMとFMの両方を聞けるもの。最近では手で充電できるものや、携帯電話の充電ができるものなどがあり便利	水	飲料水は大人一人あたり1日3リットルが目安で、3日分、できれば7日以上を用意する。水の配給を受けるためのポリ容器などがあると便利
非常食・水	缶詰やクラッカーなど、火を通さずに食べられるもの。水はペットボトル入りが便利	燃料	卓上コンロや固形燃料、予備のガスボンベなど
貴重品	多少の現金、健康保険証のコピーなど	工具	ロープ、バール、はさみ、のこぎりなど
救急医薬品	常備薬とお薬手帳(写し)のほか、傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬など	その他	簡易トイレ、毛布、寝袋、ラップ、食器類、使い捨てカイロ、マスク、シート、筆記用具など
その他	ヘルメット、下着類、軍手、ライター、ナイフ、ティッシュなど		

## 「定期的なチェック」を忘れずに

非常持出品や非常備蓄品は、半年に1回程度の割合で中身を点検しましょう。飲料水や非常食の賞味期限のチェックをはじめ、医薬品などの使用期限、電池切れなどの確認は重要です。また、家族構成や健康状態の変化などによっても必要となるものや量が変わってきます。いったん準備してもそれで安心せず、定期的な見直しを忘れずに行いましょう。

## 非常持出品チェックリスト

品名	点検日記入欄	品名	点検日記入欄
<input type="checkbox"/> 非常食		<input type="checkbox"/> ナイフ、缶きり、栓抜き	
<input type="checkbox"/> 飲料水		<input type="checkbox"/> ティッシュ(ウエットタイプも)	
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備の電池)		<input type="checkbox"/> タオル	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備の電池・電球)		<input type="checkbox"/> ビニール袋	
<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん		<input type="checkbox"/> 上着・下着	
<input type="checkbox"/> 救急医薬品		<input type="checkbox"/> 軍手	
<input type="checkbox"/> 常備薬・お薬手帳(写し)		<input type="checkbox"/> シート	
<input type="checkbox"/> 貴重品			
<input type="checkbox"/> 現金			
<input type="checkbox"/> 健康保険証のコピー			
<input type="checkbox"/> ろうそく・ランタン			
<input type="checkbox"/> ライター(マッチ)			

## 非常備蓄品チェックリスト

品名	点検日記入欄	品名	点検日記入欄
<input type="checkbox"/> 食料(缶詰、レトルト食品、ドライフーズなど)		<input type="checkbox"/> 洗面用具	
<input type="checkbox"/> 食料(調味料、スープ、みそ汁など)		<input type="checkbox"/> なべ、やかん	
<input type="checkbox"/> 食料(チョコレート、あめなど)		<input type="checkbox"/> 簡易食器(わりばし、紙皿、紙コップなど)	
<input type="checkbox"/> 水(1人あたり1日3リットル)		<input type="checkbox"/> ラップ、アルミホイルなど	
<input type="checkbox"/> 燃料(卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベなど)		<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ、トイレットペーパーなど	
<input type="checkbox"/> 毛布、タオルケット、寝袋など		<input type="checkbox"/> マスク、使い捨てカイロなど	
		<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	
		<input type="checkbox"/> 補聴器など	
		<input type="checkbox"/> 工具類(ロープ、バール、スコップなど)	
		<input type="checkbox"/>	

## こんな用意もしておきましょう

乳幼児のいる家庭	妊婦のいる家庭	要支援者のいる家庭
粉ミルク、ほ乳びん、離乳食、スプーン、おむつ、清浄綿、抱っこひも、バスタオル、ベビー毛布、ガーゼなど ➡ 10ページ参照	脱脂綿、ガーゼ、さらし、T字帯、清浄綿、新生児用品、ティッシュ、ビニール風呂敷、母子健康手帳など ➡ 10ページ参照	着替え、おむつ、ティッシュ、障害者手帳、補助具の予備、常備薬、予備のメガネ、緊急時の連絡先表など

# 女性や育児に必要な非常備蓄品

女性や育児に必要な非常備蓄品については、家庭によって必要な品目や数量は異なります。各家庭で必要なものを用意しておきましょう。

生理用品

☐ 生理用ナプキン（長時間用もあるとよい）  
☐ サニタリーショーツ  
☐ 清浄綿  
☐ おりものシート  
☐ 中身の見えないごみ袋



授乳用品

☐ 粉ミルク（調整粉乳）  
☐ アレルギー用ミルク  
☐ 乳幼児用飲料水（軟水）  
☐ ほ乳びん  
☐ ほ乳びん用の消毒剤  
☐ 湯沸かし器具（停電も想定した乾電池式または発電式のもの）



離乳食用品

☐ ベビーフード（アレルギー対応食を含む）  
☐ スプーン

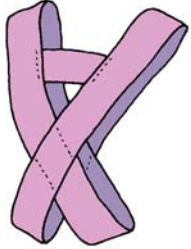
紙おむつ用品

☐ 小児用紙おむつ  
☐ おしりふき  
☐ ごみ袋  
☐ 乳幼児用着替え  
☐ ベビーバス（赤ちゃんのお尻を洗うために必要）



その他

☐ 抱っこひも  
☐ 授乳用ポンチョ  
☐ 下着（いろいろなサイズ）



# 災害から避難するタイミング

できるだけ周囲が浸水する前に地域で声をかけ合って、落ち着いてすばやく避難しましょう。特に夜間に大雨などが予想される場合は、夕方までに避難しましょう。

## 警戒レベルと避難に関する情報

警戒レベル	避難情報	状況	住民がとるべき行動
警戒レベル 5	緊急安全確保	災害発生または切迫	●命の危険！直ちに安全確保！
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
警戒レベル 4	避難指示	災害のおそれ高い	●危険な場所から全員避難
警戒レベル 3	高齢者等避難	災害のおそれあり	●危険な場所から高齢者等は避難 ●高齢者等以外の人、必要に応じ、普段の行動を見合わせたり自主的に避難

命を守るための避難行動を

①立ち退き避難

危険な場所から移動する。



②屋内安全確保

近隣の安全な建物や屋内のより安全な場所に移動する。

例えば

- 夜間や急激な降雨で避難経路上の危険箇所がわかりにくい。
- ひざ上まで浸水している。
- 浸水は20cm程度だが、水の流れが速い。
- 浸水は10cm程度だが、用水路などの位置が不明で転落のおそれがある。



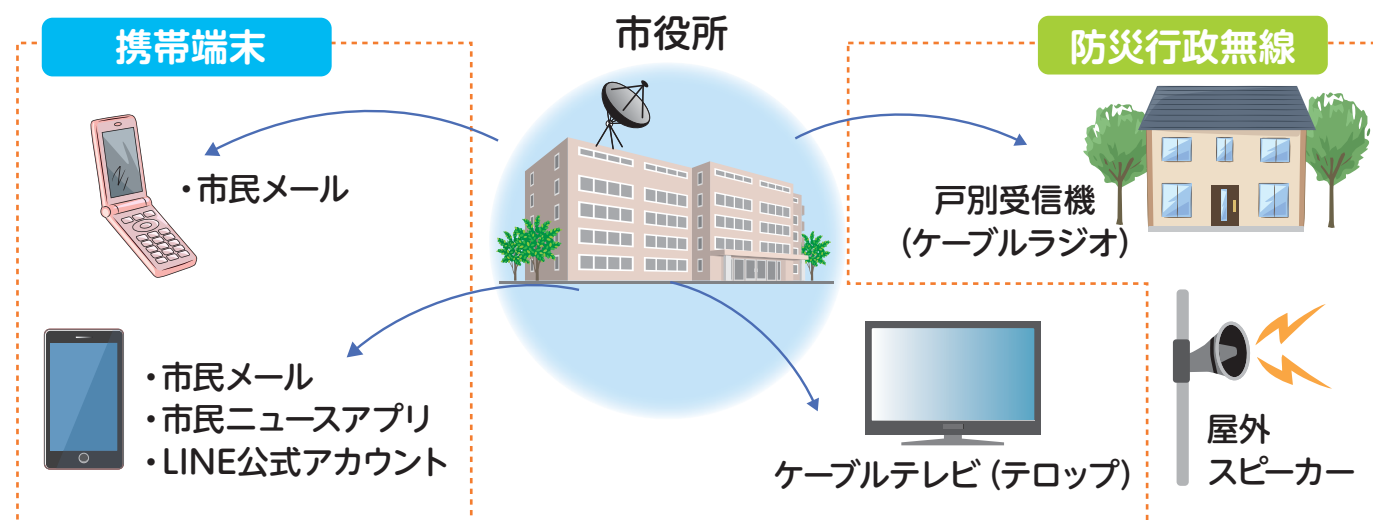
★屋外への移動は危険。★自宅や近隣建物の2階以上に緊急避難し、救助を待つ。

避難における心得

- 自らの判断で避難行動をとることが原則です。
- 避難した結果、何も起きなければ「幸運だった」という心構えが重要です。
- 避難情報の対象とする区域はあくまでも目安です。その区域外でも、危険だと感じたらすぐに避難しましょう。

1 防災情報の発信について

災害発生時などに迅速かつ正確に防災情報をお伝えするため、防災行政無線の整備や市民メールの配信などを行っています。



2 岩国市からの防災情報の伝達手段について

		防災情報		行政情報	気象情報	火災情報	時 報
		避難指示など 緊急情報	その他の 防災情報				
防災行政無線	屋外スピーカー	○	○	×	×	○	○
	戸別受信機	○	○	×	×	○*	○
岩国市市民メール		○	○	○	○	○	×
岩国市民ニュースアプリ		○	○	○	○	○	×
岩国市LINE公式アカウント		○	○	○	○	○	×

※旧岩国市内は除く

防災行政無線について

災害時に避難指示などの防災情報を知らせるため、防災行政無線を整備しました。屋外スピーカーや、ご希望の家庭には戸別受信機を設置しています。

戸別受信機 (ケーブルラジオ) の概要

【概 要】 ケーブルテレビ会社のケーブル網を利用し、防災情報を配信
【自己負担額】 無料

- 受信料、引き込み工事費ともに無料
- ケーブルテレビに加入していない場合も無料

【サ イ ズ】 横 170mm × 高さ 126mm × 奥行 58mm

【電 源】 AC100V

【停電時用電池】 単三型充電式ニッケル水素電池 3 本

【ラジオ機能】 FM・AM 計 5 局



防災行政無線の放送内容は
☎29-1111 (24 時間以内) で確認できます。

- 【備 考】
- 防災情報はラジオを聴いている時でも割り込んで放送されます。
 - ボリューム調整は、「大・中」のみとなります。
 - 申込受付期間は「広報いわくに」でお知らせします。

岩国市市民メールについて

登録方法

右の二次元コードを読み取って岩国市ホームページ、または岩国市市民メール登録ページから登録を行ってください。

ホームページで
市民メール
登録サイトを開く

自分のメール
アドレスを
入力して登録

メールが届くので、
リンクを開く

希望する情報を
選択して登録

岩国市ホームページ
<https://www.city.iwakuni.lg.jp>



配信情報

- 岩国市からの防災情報(避難指示など)
- 地震、津波、注意報、警報、台風などの気象情報
- 岩国市からのお知らせや公共情報など

岩国市市民メール
登録アドレス
t-iwakuni@sg-p.jp (PC/スマートフォン) (フィーチャーフォン)



岩国市民ニュースアプリについて

「岩国市民ニュースアプリ」は、岩国市に関するニュース、「避難場所マップ」、ごみ収集日を一目で確認できる「ごみカレンダー」、生活に役立つ便利な情報を配信するスマートフォン用のアプリです。市民ニュースアプリでは、情報を8つのカテゴリに分けて配信します。

- 配信カテゴリ：防災、子育て、くま、高齢介護、イベント、安心・安全、公共、健康・医療
- 配信言語：日本語、英語、中国語、韓国語

スマートフォンで右の二次元コードを読み取ってアプリをダウンロードしてください。



岩国市LINE公式アカウントについて

岩国市LINE公式アカウントでは、防災に関する緊急情報や、さまざまな生活に役立つ情報を配信しています。スマートフォンで右の二次元コードを読み取って友だち追加してください。



3 下関地方気象台スマートフォン用ホームページについて

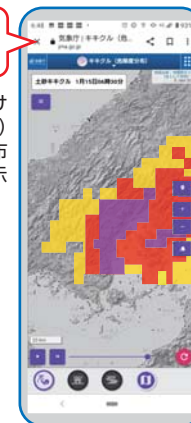
下関地方気象台スマートフォン用ホームページでは、土砂災害や洪水の危険度分布や警報・注意報などに関する防災情報が確認できます。

スマートフォン用 HPメニュー

- 土砂キキクル (大雨警報 (土砂災害) の危険度分布)
- 浸水キキクル (大雨警報 (浸水害) の危険度分布)
- 洪水キキクル (洪水警報の危険度分布)
- 雨雲の動き (高解像度降水ナウキャスト)
- 今後の雨 (降水短時間予報)
- 警報・注意報●警報級の可能性●台風情報
- 天気予報●気温予報●雷&竜巻ナウキャスト●アメダス●イベント●リンク

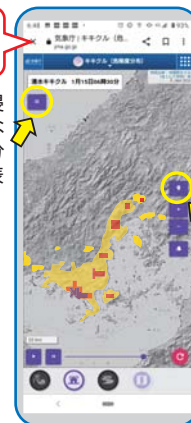
土砂 キキクル

土砂災害 (がけ崩れ、土石流) の危険度分布を5段階で表示します。



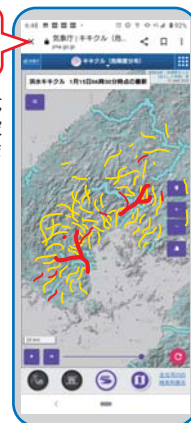
浸水 キキクル

浸水害 (家屋浸水、道路冠水など) の危険度分布を5段階で表示します。



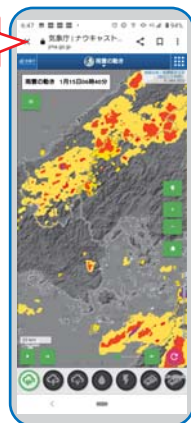
洪水 キキクル

洪水警報の危険度分布を5段階で表示します。



雨雲の 動き

現在の降水強度の分布を表示します。



スマホ版【危険度分布】

地図はそのまま、それぞれの情報を切り替えます。

今いる位置のGPS位置情報を取得してアイコンで示します。そのほか多くの機能があります。

下関地方気象台

検索



4 その他の防災情報の伝達手段について

山口県や民間事業者が配信するサービスもあります。

山口県土木防災情報システム

山口県が提供する雨量や河川水位などの防災情報を閲覧できます。
https://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/kco_top.aspx



(タブレット)



(スマートフォン)

山口県土砂災害ポータル

山口県が提供する土砂災害特別警戒区域等のマップや土砂災害降雨危険度などの防災情報を閲覧できます。
<https://d-keikai.pref.yamaguchi.lg.jp/Top.aspx>



(タブレット)



(スマートフォン)

緊急速報メール

携帯電話各社が提供するメールサービスで、気象庁からの緊急地震速報など緊急の通知が配信されます。岩国市においても避難指示など人命に関わる緊急情報を配信します。
 *機種によっては受信できない場合があります。

5 避難場所について

岩国市が指定している避難場所は、別紙「岩国市緊急避難場所一覧」のとおりです。避難場所を開設する場合には、「岩国市からの防災情報の伝達手段」(12ページ)によりお知らせします。

緊急避難場所

災害が発生し、または発生するおそれがある場合に、その危険から逃れるための場所です。

早期避難場所

台風接近などに備え、早めに避難をされる方のために開設する避難場所です。

ペットの受入れが可能な避難場所

小型ペットはケージに入れるなど、周囲への配慮をお願いします。

6 防災学習館について

防災学習館には、大地震や煙避難などの体験コーナー、災害のバーチャル体験ができる防災シアターや防災VRを設置しているほか、いざというときに役立つさまざまな防災情報を展示しています。

開館時間 9時～17時

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、
 年末年始(12月29日～1月3日)

利用料 無料 施設、駐車場ともに無料
 *10人以上の団体の場合は事前連絡をお願いします。

施設紹介
 ・防災シアター
 ・煙避難体験
 ・119番通報体験
 ・防災VR
 ・地震体験
 ・消火体験
 ・QAコーナー

所在地 岩国市愛宕町1丁目4-1
 いわくに消防防災センター1階
 電話0827-34-0020



いわくに消防防災センター

ハザードマップ

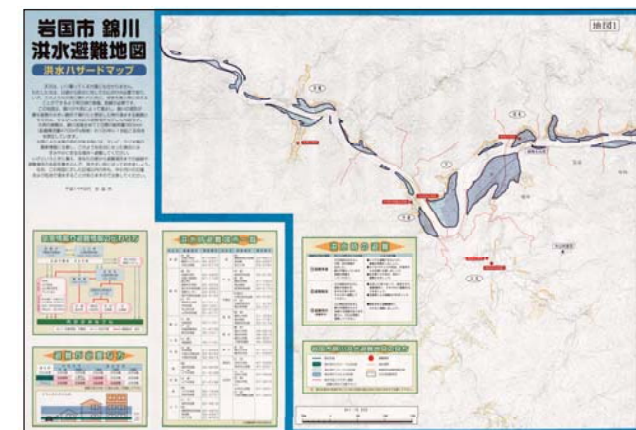
ハザードマップとは、土砂災害、洪水などの種類ごとにその被害の想定範囲や避難場所の位置などを示した地図です。

あらかじめ自宅周辺の状況を把握し、災害時の参考にしてください。

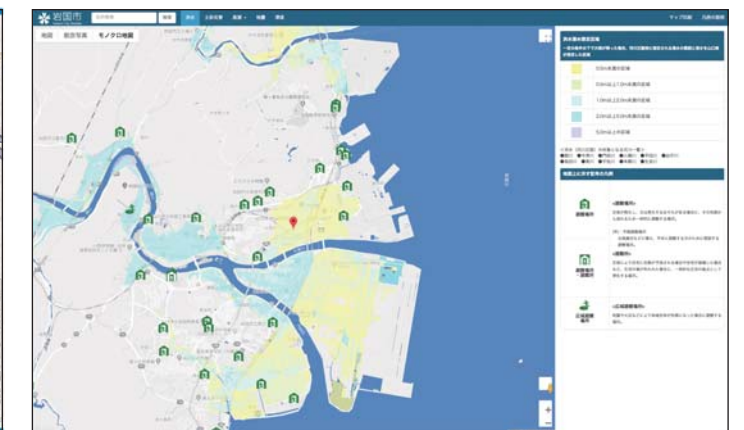
■岩国市のハザードマップの種類

- 土砂災害 ●洪水 ●高潮 ●津波
- 地震

旧 錦川(下流部)洪水ハザードマップ



Web 版岩国市ハザードマップ(例:洪水)



※英語版もあります

土砂災害(特別)警戒区域について

土砂災害から住民の生命を守るために土砂災害防止法*に基づき、「土砂災害警戒区域(イエローゾーン)」と「土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)」を都道府県知事が指定します。

「土砂災害警戒区域」は、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域のことです。「土砂災害特別警戒区域」は、土砂災害警戒区域のうち、建築物の損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域のことです。土砂災害は、3種類に分類されています。

- 土石流：山腹や川底の石や土砂が雨などによって一気に下流に押し流される現象
- がけ崩れ：雨や地震によって、いきなり斜面が崩れ落ちる現象
- 地すべり：斜面の一部または全部が地下水などによってゆっくりと斜面下方に移動する現象

*「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」



山口県土砂災害ポータル

検索

マイ・タイムライン作成シート

8 ページの「マイ・タイムラインをつくろう」を参考にして、マイ・タイムラインを実際に作ってみましょう。

目安		気象情報等		市の情報		私と家族の行動（誰が〇〇をする）	
3 日前	○台風進路情報 ○早期注意情報 ○台風に関する山口県 気象情報(随時)	市が発令する避難情報	警戒 レベル 1	●災害への 心構えを高める ●準備を始める			
2 日前							
1 日前	○洪水注意報 ○大雨注意報 ○氾濫注意情報 ○高潮注意報		警戒 レベル 2	避難行動を ハザードマップで 確認する			
圏 台 内 風							
半 日 前	○洪水警報 ○大雨警報(土砂災害) ○氾濫警戒情報 ○高潮警報に切り替える 可能性が高い注意報	高齢者等避難	警戒 レベル 3	危険な場所から 高齢者等は 避難する			
影 生 響							
5 時 間 前							
3 時 間 前	○土砂災害警戒情報 ○氾濫危険情報 ○高潮(特別)警報	避難指示	警戒 レベル 4	●危険な場所から 全員避難する ●避難を完了する			
最 接 近					台 風		
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~							
0 時 間	○大雨特別警報 ○氾濫発生情報	緊急安全確保	警戒 レベル 5	直ちに安全を 確保する			
発 災 生 害							

発  
災  
害